

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

昨年7月にインターンシップへのエントリーを始め、8月にメーカーなどのサマーインターンシップに参加しました。10月ごろから少しずつ企業説明会に参加して、年明け1月には志望業界の説明会が本格化。そして、2月末から本選考が始まった途端に震災が起こって、ほとんどの企業の選考がストップしてしまいました。本格的に選考活動が再開したのは5月後半ごろで、6月に志望企業から内定をいただいて就職活動を終えることができました。

志望業界と内定先は？

メーカーでも特に調達部門に興味があり、業務内容が近い商社も志望していました。メーカーの調達部門に興味を持つようになったのは、「社内外の人とかかわりながら仕事を進められ、得意な中国語を活かせる仕事」と、インターンシップを通じて知ったからです。最終的にメーカーと商社の2社から内定をいただいたのですが、自社で製品を生み出しているメー



カーに決めました。また、内定先の企業にはいろんなタイプの人がいて、自然体の自分を受け入れてくれる社風にも魅力を感じました。理系ナビのサービスはいかがでしたか？

理系ナビの情報誌は、情報収集のために読んでいました。また、キャリア面談も利用したのですが、面接での志望動機や自己PRの弱点を指摘してもらえて、面接で大切にすべきポイントなどを早い段階で知ることができたのは良かったです。

就職活動で苦労したことは何ですか？

一番大変だったのは面接です

【就活データ】

- 就活開始：2010年7月
- 就活終了：2011年6月
- 志望業界：メーカー、商社
- エントリー：25社
- 面接社数：21社
- 内定社数：2社
- 内定先：メーカー（調達部門）内定

活動体験談 01 就職活動は自分の世界が広がるまたとない機会

東京工業大学 生命理工学部 生命工学科 4年 吳 唯華

ね。私は話し方がゆっくりなので、面接担当の方に「厳しい仕事、泥臭い仕事ができないのではないか」と思われがちでした。面接の際に3社連続でそのことを指摘されたのがすごくショックで、同時に「このままではまずい」と思いました。その後は気持ちを切り替えて、アルバイト経験などを踏まえて「私はこう思われがちですが、実際は……」といった自己アピールをすることでイメージを払拭するよう努めました。

就職活動で大切に感じたことは？

自分の目指す方向に向かって進んでいるときに、否定的な意見を言われると「そんなことない」と思ってしまうがちですが、そういった意見にも耳を傾けたほうがいいということですね。いろんな意見を聞きつつ、取捨選択していくことは大切だと思います。

もう一つは、出会いを大切にすることですね。私は就職活動を通じて出来た仲間やOB・OGなど、素晴らしい人たちと出会うことができました。世界一周や、学

生起業した方など、研究室にいるだけでは出会えないいろんなタイプの人と出会えた経験は刺激的で、そういった方々と話して、自分の世界の狭さを感じると同時に、もっと自身の世界を広げたいと感じるようになりました。就職活動で出会った方たちは私にとっても大切な存在になりました。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします

就職活動は多くの人に会え、多くの世界に触れられるまたとない貴重な機会です。「自分の進む先はこれだ！」と思いつまらずに、いろんな業界を見て、いろんな人の話を聞いて、自分の世界を広げてみてください。そして自分が納得できるまで悩んでください。困ったことがあれば、ぜひ先輩やOBや友達に相談してみてください。自分一人ではたどり着けなかった答えが見つかるかもしれません。せっかくの機会ですから、就職活動を楽しんでほしいですね。

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

昨年の6月、合同説明会に参加したのが最初のアクションです。11月にコンピュータサイエンス系の研究室に入ることが決まったので、就職先としてIT業界を強く意識するようになり、情報収集やエントリーを始めました。12月から1月ごろは説明会参加や、早い企業では面接も始まっていたので一番忙しかったですね。3月に志望企業から内々定を貰い、そこで就職活動を終わりました。

志望業界と内定先は？

IT業界といっても、ITコンサルやSierなど様々な業態や企業があるので、できるだけ多くの企業を見るようにしました。多くの企業を見るうちに、「渡された仕様書をもとにシステムを作る」だけでなく、「上流からコンサルティングや設計に携わることで、顧客企業の経営に影響を与えるような仕事をしたい」と、自分の志向を固めることができました。内定承諾の決め手は、企業の規模感です。いわゆる大企業より人



数も少ない方が、より仕事のチャンスが巡ってきます。また、プロジェクトアサイン制のため様々な経験が得られるなど、そのような環境下で自分を磨き続けたいと考え、フューチャーアーキテクトへの入社を決めました。また、同社はITコンサルタント企業でありながら、技術に対するこだわりが非常に強いという点にも惹かれましたね。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

フューチャーアーキテクトが講師を務めていた「ITコンサルタント職種研究セミナー」に参加しました。少人数での座談会もあり、現役社員からいろいろな話を聞け

case

02

理系の就職

いろんな会社を見て、自分の進むべき方向を見極める

慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 4年 山上 燦

【就活データ】

- 就活開始：2010年6月
- 就活終了：2011年3月
- 志望業界：IT
- エントリー：100社
- 面接社数：30社
- 内定社数：1社
- 内定先：フューチャーアーキテクト株式会社

たのがよかったです。OB訪問をしないと聞けないような話を気軽に聞くことができました。

就職活動で苦労したことは何ですか？

実際のところ、あまり辛いと思うことはなく、比較的楽しみながら就職活動をできたと思います。いろんな会社、社会人と出会い、話を聞いたのは刺激的な経験でした。

とはいえ、忙しい時期は1日で4社面接があるなど、事前準備もしなければならぬのでスケジュール管理が大変でした。対策として行ったのは、エクセルでスケジュール表を作成し、企業ごとに次のアクションや面接で聞かれた質問といった情報をまとめること。おかげで、スケジュール管理や企業情報の振り返りなどを効率的に行うことができました。

就職活動で大切に感じたことは？

早めに動いて、いろんな会社を見ることです。たくさん会社を見た方が、「自分に何が向いてい

るのか、何がしたいのか」といったことがより明確になります。それに、あまり志望度が高くなかった会社でも、説明会に行ってみたら「面白い会社だな」と思うこともあります。

情報収集の際にこだわったのは、「行きたい」と思った会社を徹底的に研究することです。IR情報などを読み込んで、面接の際に「ちゃんと見ているな」と思われるのは非常に大切。今後の戦略やビジョンなどもしっかり把握し、自分の目指す方向性と合っているかを見極めました。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします

やはり早めに動いて、いろんな会社を見てほしいですね。そして、場数を踏むことも大事です。面接はいくら準備しても緊張しますし、経験しなければ分からないこともあります。会社のなかには面接内容のフィードバックをしてくれる所もありますので、本当に行きたい会社の面接に挑む前に、場数を踏んでおくことをお勧めします。